

自分たちの手で地域を美しく



豊中地区

1月から2月にかけて、三豊市地区衛生組織連合会の各支部主催の一斉清掃が市内各地で行われました。

一斉清掃は、

『自分たちの手で地域を美しく』という精神のもと、日頃から環境美化意識を高めてもらうための住民運動として定着しており、市民の皆さんが河川や堤防、道路、水路などに捨てられているごみを拾ったり、草刈りを行いました。

これからも空き缶・空き瓶のポイ捨てやごみの不法投棄をせずに、自分たちの住む地域を美しく保ちたいものです。



高瀬地区

宝くじの助成で祭用具を整備しました

(財)自治総合センターは地域住民の親睦と融和を図り、地域が発展することを目的としてコミュニティ活動に助成を行っています。

今回は山本町の西中自治会がちょうさの

とんぼ、房を整備しました。新調された用具は今年の秋祭りで披露されます。



おめでとうございます

法務大臣感謝状

2月26日三豊市役所で、退任された人権擁護委員・藤山正彦さん(詫間町)に高松法務局観音寺支局長から法務大臣感謝状が贈られました。

チャレンジ精神で男女共同参画社会の実現を



▲真っ赤なスーツで登場した住田さん、きらきらと輝いていました

2月25日、マリノウェーブで「三豊市男女共同参画講演会」が開催されました。

講師はテレビ番組「行列のできる法律相談所」でおなじみの弁護士・住田裕子さん。『変革期の今・・・人、意識、どう変わる』と題した講演で、「テレビで見るよりスマートでしょ」と会場を沸かせたあと、自身の生い立ち、男性の多い職場で検事として結婚や育児をしながら地位を確立してきた体験談を交えながら、男女共同参画社会実現のためには社会全体の理解と女性がチャレンジ精神を持つことが重要と、満員の観客に訴えかけました。



▲講演後、市民とのパネルディスカッションも行われました

災害に強い三豊市を目指して

自主防災組織づくりは進んでいますか？

もし、三豊市で阪神淡路大地震のような大地震が起きたら、あなたはどのような行動を起こしますか？

まずは、自分の家族が無事かどうか、また自分の家が大丈夫かどうかを確認しますよね。… **自助**

運よく自分と家族が無事であると確認できたら、次は隣近所や近くの親戚などの安全を確認するでしょう。隣近所や近くの親戚の家が壊れたり、火災にあったり、身動きができない人があればどうしますか。おそらく火事を消したり、けが人を救助するため、119番に電話をか

けて、消防車や救急車を呼ぶでしょう。… **公助**

でも、三豊市全体あるいは香川県全域で、火事やけが人が続出したり、いたる所で道路が寸断されていたりすれば、幸運でない限り消防車や救急車は来てくれません。

そんな時、威力を発揮するのが、隣近所、自治会内でお互いを助け合う、**自主防災組織**です。… **共助**

自主防災組織は、単一自治会または複合自治会で、主に自治会の役員さんが中心となって、組織作りを進めていきます。自分の役割が決まることで、災害が発生したときに、組織として円滑に機能できるよう、地域総ぐるみで防災対策を進めていく組織です。

自主防災組織の結成がまだの自治会は、積極的に取り組みましょう。

▶問い合わせ 総務課 危機管理係 ☎ 62-1111

希望と感謝を胸に スポーツ少年団卒団式

3月10日、高瀬町総合体育館で平成18年度三豊市スポーツ少年団卒団式が行われました。3月現在で三豊市のスポーツ少年団に在籍している小学6年生は約250名、そのほとんどが小学校卒業と同時に所属するスポーツ少年団を卒団します。

この日は約150名の卒団員が出席し、各部の代表に三豊市スポーツ少年団本部長から卒団証書と記念品が贈られました。卒団員からは「スポ少で培ったチームワークや友情を忘れず、中学に入っても大好きなスポーツを続けたい。お世話になった監督やコーチの皆さんありがとうございました」と感謝の言葉が述べられました。



三豊市初のヘルスマイト誕生

2月16日、平成18年度三豊市食生活改善推進員養成講座の修了式が行われ、三豊市が発足してから初の食生活改善推進員(ヘルスマイト)、33人が誕生しました。



ヘルスマイトの皆さんは、栄養や生活習慣病予防、健康増進などを学び、今後それぞれの地域で食を通じた健康づくりの活動を始めます。

県の伝統工芸士に 選ばれました

田井艶子さん(三野町)

香川県では平成18年度の香川県伝統工芸士に新たに5人を認定し、3月8日、県庁で認定式を行いました。伝統工芸士は県の指定する伝統工芸品の製作者のうち、優れた伝統的技術・技法・経験を持った方を認定しており、三豊市から張子虎の製作者・田井艶子さんが認定され、知事から認定証が交付されました。おめでとうございます。



林野火災を 防げ!

塔重山で行われた
財田方面隊の訓練

春先に多く発生する林野火災を防ごうと、2月末から3月にかけて三豊市消防団山本方面隊、財田方面隊、豊中方面隊がそれぞれ三観広域消防と合同の山林火災防衛訓練を行いました。

林野火災は降雨量が少なくなって空気が乾燥し、強風が吹く中で火入れが行われたり、休日に山菜採りやレクリエーションで山に入る人が増えたりすることが原因で春先に多く発生しています。

林野火災はひとたび起きると地理的、地形的条件から消火活動が非常に困難になります。また、一度焼失した森林は再生するまでに長い年月がかかります。林野での火気の取り扱いには十分注意しましょう。

三豊市・三観広域行政組合 特別滞納整理班が発足!!

まちの発展を支える市税、皆さんの健康を守る医療保険制度の基礎である国民健康保険税は、いずれも三豊市にとって大切な財源です。これらの税金は、ほとんどの方が決められた納期限内に納付されていますが、いろいろな理由で滞納している方がいます。

三豊市では、3月1日に「三豊市・三観広域行政組合 特別滞納整理班」を発足し、市税徴税吏員に併任した香川滞納整理推進機構の香川県職員4名と三観広域行政組合の職員3名、三豊市税務課の職員5名の計12名が特別滞納整理班に任命され、市長より辞令が交付されました。

「特別滞納整理班」の活動は?

市税徴収の強化を図るため、香川滞納整理推進機構と三観広域行政組合との合同で滞納整理を実施します。これは、納期限内にきちんと税金を納めていただいている大多数の納税者の方々と滞納者との租税負担の公平性を確保するため、高額滞納者を中心に納税を促し、応じていただけない場合は、財産の差し押え、公売などの滞納処分を行うものです。

これらの取り組みにより、納税意識の高揚を図り、市税の滞納税を縮小し、自主財源の確保に努めます。

問い合わせ 三豊市・三観広域特別滞納整理班(三豊市税務課内) 62-1114